



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東
 コード番号 4043 URL <https://www.tokuyama.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 中野 哲也 (TEL) 03-5207-2552
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	166,370	25.4	8,296	△28.9	10,870	△9.4	6,565	△29.1
2022年3月期第2四半期	132,660	△7.4	11,665	△9.9	11,998	△4.0	9,257	△7.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,608百万円(△19.5%) 2022年3月期第2四半期 9,454百万円(△19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	91.25	—
2022年3月期第2四半期	128.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	488,569	241,702	47.0	3,190.93
2022年3月期	433,210	232,917	51.8	3,120.25

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 229,591百万円 2022年3月期 224,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2023年3月期	—	35.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	370,000	25.9	21,000	△14.4	24,000	△7.2	15,000	△46.4	208.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※2022年10月28日に「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しました。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社(社名) STAC Co., Ltd.

(注)詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	72,088,327株	2022年3月期	72,088,327株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	137,033株	2022年3月期	136,954株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	71,951,355株	2022年3月期2Q	71,976,167株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 11
(追加情報)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2023年3月期 第2四半期連結累計期間	166,370	8,296	10,870	6,565
2022年3月期 第2四半期連結累計期間	132,660	11,665	11,998	9,257
増減率	25.4%	△28.9%	△9.4%	△29.1%

(売上高)

原燃料価格高騰分の販売価格への転嫁を進めたこと等により、前年同期より337億10百万円増加し、1,663億70百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

(売上原価)

原燃料コストの増加等により、前年同期より336億63百万円増加し、1,205億28百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

物流費及び研究開発費の増加等により、前年同期より34億15百万円増加し、375億45百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(営業利益)

物流費及び原燃料コスト等の増加により、前年同期より33億68百万円減少し、82億96百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、前年同期より22億40百万円改善しました。

以上の結果、経常利益は前年同期より11億28百万円減少し、108億70百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期より21億89百万円悪化しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より33億17百万円減少し、107億13百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より26億57百万円減少し、65億72百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より26億91百万円減少し、65億65百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	57,789	28,861	41,341	18,011	6,336	20,379	172,719	△6,349	166,370
2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	43,891	24,964	33,824	15,395	4,478	16,701	139,256	△6,596	132,660
増減率	31.7%	15.6%	22.2%	17.0%	41.5%	22.0%	24.0%	—	25.4%

営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	4,754	△1,811	3,363	3,316	298	853	10,773	△2,476	8,296
2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	5,578	5	4,073	2,634	△354	1,883	13,819	△2,154	11,665
増減率	△14.8%	—%	△17.4%	25.9%	—%	△54.7%	△22.0%	—	△28.9%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益又は営業損失(△)にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、原燃料コストの増加はありましたが、国内の販売価格への転嫁を進めたこと、及び輸出価格が上昇したことにより、増益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、原燃料価格の上昇で製造コストが増加したこと等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は577億89百万円(前年同期比31.7%増)、営業利益は47億54百万円(前年同期比14.8%減)で増収減益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、出荷は前年同期並みであり、販売価格是正に努めたものの原料価格の上昇による製造コストの増加に伴い、損益が悪化しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は288億61百万円(前年同期比15.6%増)、営業損失は18億11百万円(前年同期は営業利益5百万円)となりました。

(電子材料セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンは、販売価格修正を進めたものの、原燃料価格の上昇等に伴う製造コストの増加により、減益となりました。

ICケミカルは、半導体向け用途の需要は堅調であり、販売価格修正を進めたものの原料価格の上昇等により、減益となりました。

乾式シリカは、原料コストの増加はありましたが、国内の販売価格修正が進んだこと、及び輸出価格が上昇したこと等により、増益となりました。

放熱材は、販売数量は堅調に推移したものの、研究開発費の増加等により、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は413億41百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益は33億63百万円(前年同期比17.4%減)で増収減益となりました。

(ライフサイエンスセグメント)

歯科器材は、海外向けを中心に出荷が増加したことにより、増益となりました。

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は180億11百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は33億16百万円（前年同期比25.9%増）で増収増益となりました。

(環境事業セグメント)

イオン交換膜は、出荷が増加したこと等により、増益となりました。

廃石膏ボードリサイクルは、燃料コストの増加等はあったものの、廃石膏ボードの受入れが堅調だったことにより、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は63億36百万円（前年同期比41.5%増）、営業利益は2億98百万円（前年同期は営業損失3億54百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,885億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ553億59百万円増加しました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が181億42百万円、現金及び預金が169億35百万円、有形固定資産が71億7百万円、商品及び製品が62億69百万円、仕掛品が32億19百万円増加したことによるものです。

負債は2,468億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ465億74百万円増加しました。主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が313億38百万円、支払手形及び買掛金が139億6百万円増加したことによるものです。

純資産は2,417億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ87億84百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が40億40百万円、非支配株主持分が36億99百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は995億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ170億20百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは3億49百万円の収入（前年同期比160億10百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益107億13百万円、減価償却費97億25百万円、仕入債務の増加額132億86百万円の資金増加要因に対し、棚卸資産の増加額272億67百万円、その他流動資産の増加額55億2百万円の資金減少要因によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは162億70百万円の支出（前年同期比6億58百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出148億53百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは317億92百万円の収入（前年同期比400億1百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入515億4百万円、株式の発行による収入41億3百万円の資金増加要因に対し、長期借入金の返済による支出204億93百万円、配当金の支払額25億17百万円の資金減少要因によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

原燃料価格の動向等を踏まえ、2022年4月28日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年10月28日付「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,116	100,051
受取手形	7,212	7,744
売掛金	70,989	67,650
リース債権	11	11
商品及び製品	19,194	25,463
仕掛品	14,264	17,483
原材料及び貯蔵品	22,265	40,408
その他	6,968	12,123
貸倒引当金	△72	△73
流動資産合計	223,950	270,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,926	111,706
減価償却累計額	△78,815	△79,924
建物及び構築物(純額)	30,111	31,781
機械装置及び運搬具	475,226	482,763
減価償却累計額	△424,410	△430,738
機械装置及び運搬具(純額)	50,815	52,025
工具、器具及び備品	23,356	24,146
減価償却累計額	△20,368	△20,927
工具、器具及び備品(純額)	2,987	3,219
土地	32,112	32,731
リース資産	8,682	8,932
減価償却累計額	△3,302	△3,794
リース資産(純額)	5,379	5,137
建設仮勘定	18,195	21,815
有形固定資産合計	139,602	146,710
無形固定資産		
のれん	68	428
リース資産	25	16
その他	2,588	2,832
無形固定資産合計	2,682	3,277
投資その他の資産		
投資有価証券	28,255	28,130
長期貸付金	2,094	2,037
繰延税金資産	21,111	21,794
退職給付に係る資産	10,482	10,829
その他	5,077	4,970
貸倒引当金	△46	△45
投資その他の資産合計	66,974	67,717
固定資産合計	209,259	217,705
資産合計	433,210	488,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,055	62,961
短期借入金	463	709
1年内返済予定の長期借入金	20,823	811
リース債務	1,225	1,142
未払法人税等	2,157	3,755
賞与引当金	3,462	3,123
修繕引当金	5,409	4,404
解体撤去引当金	908	874
製品保証引当金	73	38
損害賠償損失引当金	108	109
環境対策引当金	14	4
事業再構築引当金	47	—
資産除去債務	—	63
その他	18,587	19,791
流動負債合計	102,337	97,791
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	67,951	119,302
リース債務	3,754	3,544
繰延税金負債	248	224
役員退職慰労引当金	194	178
株式給付引当金	33	55
修繕引当金	1,181	1,473
解体撤去引当金	874	631
製品補償損失引当金	88	71
環境対策引当金	118	118
退職給付に係る負債	2,081	2,139
資産除去債務	57	13
その他	6,370	6,322
固定負債合計	97,954	149,075
負債合計	200,292	246,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	23,453	23,451
利益剰余金	180,534	184,575
自己株式	△414	△412
株主資本合計	213,573	217,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,587	2,711
繰延ヘッジ損益	△8	△5
為替換算調整勘定	4,849	6,879
退職給付に係る調整累計額	2,505	2,391
その他の包括利益累計額合計	10,932	11,976
非支配株主持分	8,411	12,111
純資産合計	232,917	241,702
負債純資産合計	433,210	488,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	132,660	166,370
売上原価	86,865	120,528
売上総利益	45,795	45,842
販売費及び一般管理費		
販売費	21,797	23,503
一般管理費	12,332	14,041
販売費及び一般管理費合計	34,130	37,545
営業利益	11,665	8,296
営業外収益		
受取利息	70	53
受取配当金	289	370
持分法による投資利益	534	1,065
為替差益	119	1,934
業務受託料	296	641
その他	1,947	1,577
営業外収益合計	3,256	5,642
営業外費用		
支払利息	704	779
業務受託費用	228	491
その他	1,990	1,797
営業外費用合計	2,923	3,068
経常利益	11,998	10,870
特別利益		
固定資産売却益	313	41
投資有価証券売却益	1	11
補助金収入	75	42
受取損害賠償金	2,178	—
債務免除益	—	19
保険差益	—	16
段階取得に係る差益	—	5
特別利益合計	2,568	138
特別損失		
固定資産売却損	35	—
減損損失	3	14
災害による損失	77	17
固定資産圧縮損	67	26
固定資産処分損	279	174
退職給付費用	—	61
損害賠償金	70	—
その他	2	—
特別損失合計	536	295
税金等調整前四半期純利益	14,031	10,713
法人税等	4,801	4,140
四半期純利益	9,229	6,572
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,257	6,565

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	9,229	6,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	△874
繰延ヘッジ損益	△39	3
為替換算調整勘定	449	1,816
退職給付に係る調整額	15	△114
持分法適用会社に対する持分相当額	65	204
その他の包括利益合計	224	1,035
四半期包括利益	9,454	7,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,470	7,609
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,031	10,713
減価償却費	9,075	9,725
引当金の増減額 (△は減少)	△63	△855
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70	65
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△366	△520
受取利息及び受取配当金	△359	△423
為替差損益 (△は益)	80	△758
有形固定資産売却損益 (△は益)	△278	△41
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△11
持分法による投資損益 (△は益)	△534	△1,065
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△5
補助金収入	△75	△42
支払利息	704	779
固定資産圧縮損	67	26
減損損失	3	14
固定資産処分損益 (△は益)	279	174
保険差益	—	△16
受取損害賠償金	△2,178	—
損害賠償金	70	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,669	3,421
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,103	△27,267
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△808	△5,502
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,496	13,286
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2,256	686
その他	△16	103
小計	18,508	2,487
利息及び配当金の受取額	881	1,096
利息の支払額	△706	△718
保険金の受取額	—	16
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,323	△2,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,359	349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9	△26
定期預金の払戻による収入	26	110
有形固定資産の取得による支出	△16,204	△14,853
有形固定資産の売却による収入	345	59
投資有価証券の取得による支出	△384	△329
投資有価証券の売却による収入	303	59
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△140
長期貸付けによる支出	△1	△43
長期貸付金の回収による収入	92	94
補助金の受取額	75	42
その他	△1,170	△1,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,928	△16,270

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△1,200	240
長期借入れによる収入	1,184	51,504
長期借入金の返済による支出	△6,358	△20,493
株式の発行による収入	1,514	4,103
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出	—	△304
配当金の支払額	△2,516	△2,517
非支配株主への配当金の支払額	△120	△61
自己株式の増減額 (△は増加)	△99	△1
その他	△612	△678
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,209	31,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	1,127
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,715	16,998
現金及び現金同等物の期首残高	83,050	82,496
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	870	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減 額 (△は減少)	—	21
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,205	99,516

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間より、新たにSTAC Co., Ltd. を設立したため、当該子会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税ならびに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	43,703	24,560	33,116	15,344	4,374	11,561	132,660	—	132,660
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	188	404	707	51	104	5,139	6,596	△6,596	—
計	43,891	24,964	33,824	15,395	4,478	16,701	139,256	△6,596	132,660
セグメント利益 又は損失(△)	5,578	5	4,073	2,634	△354	1,883	13,819	△2,154	11,665

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	57,594	28,617	41,021	17,994	6,227	14,914	166,370	—	166,370
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	194	244	319	16	108	5,465	6,349	△6,349	—
計	57,789	28,861	41,341	18,011	6,336	20,379	172,719	△6,349	166,370
セグメント利益 又は損失 (△)	4,754	△1,811	3,363	3,316	298	853	10,773	△2,476	8,296

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、株式会社ASMの株式を取得し子会社化しました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において370百万円です。